



Setting samples Azureモデル 概要

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」、「Setting samples Azureモデル」を「Azureモデル」と記載します。

第1.0版 (ITAバージョン1.9.1/1.10.0版)

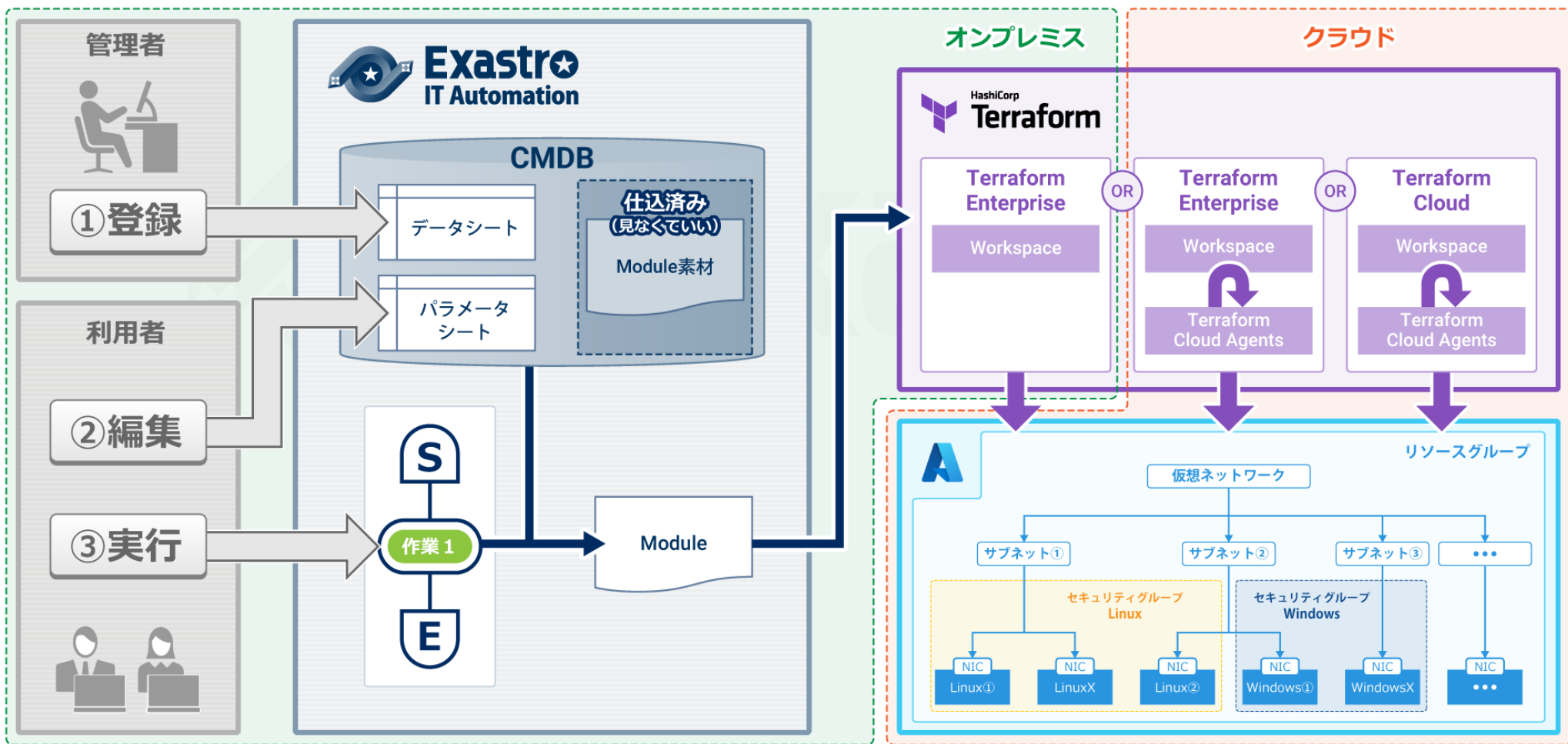
Exastro developer

目次

1. はじめに
2. Azureモデルとは
3. Azureを自動化する目的
4. 自動化の仕組み
5. RBACによる誤操作防止
6. Azureモデルによる自動化
 1. 仮想マシン作成
 2. リソースグループとWorkspaceの関係
7. 困ったときは
8. 参考
 1. (プリセットされているConductorやパラメータシートの一覧)

1. はじめに

このドキュメントは、ITA と組み合わせて実行されるAzureモデルの概要を記載するものです。
Azureモデルの具体的な導入する方法を知りたい方は、コミュニティサイトの「Azureモデル導入手順」をご参照ください。

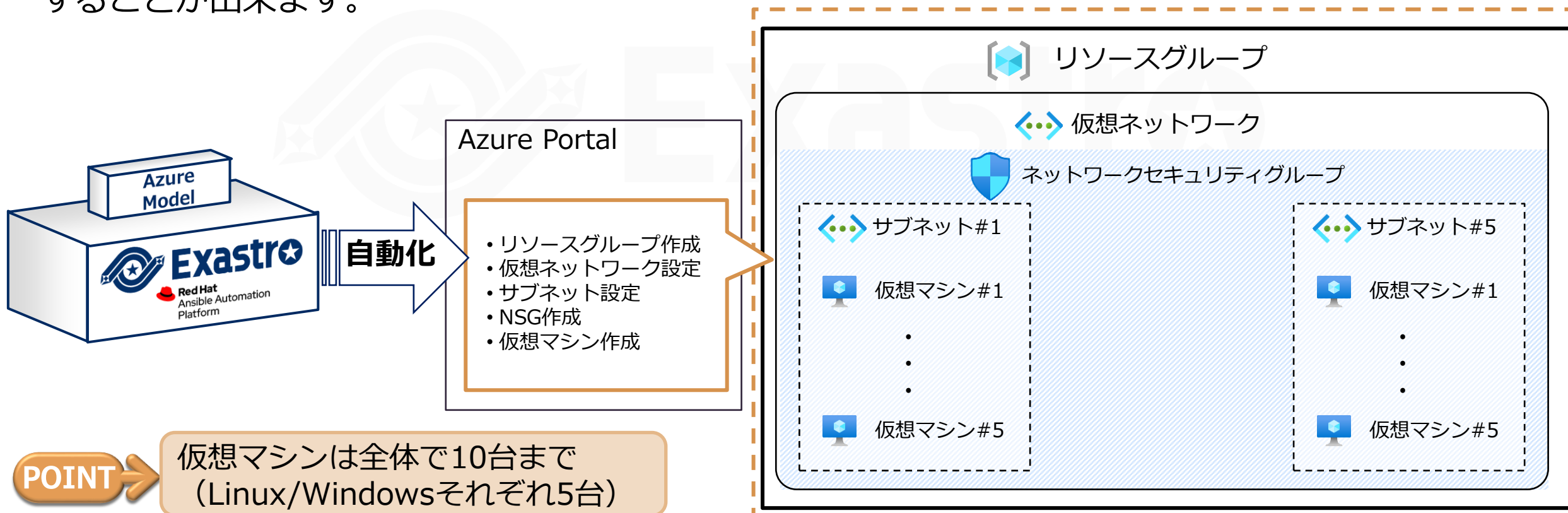


2. Azureモデルとは

Azureモデルは、Azure Portalを使った煩雑な仮想マシン作成作業を自動化するモデルです

仮想マシンの作成だけでなく、仮想ネットワーク設定、サブネット設定、ネットワークセキュリティティグループ（NSG）作成を自動化します。

本モデルを使うことで、セキュリティ設定やネットワーク設定を統一したVMグループを簡単に作成することが出来ます。



3. 自動化の目的

■ Azure上のVMや仮想ネットワークの操作は、Azure Portalと呼ばれるWebベースのGUIを使って実施されます。

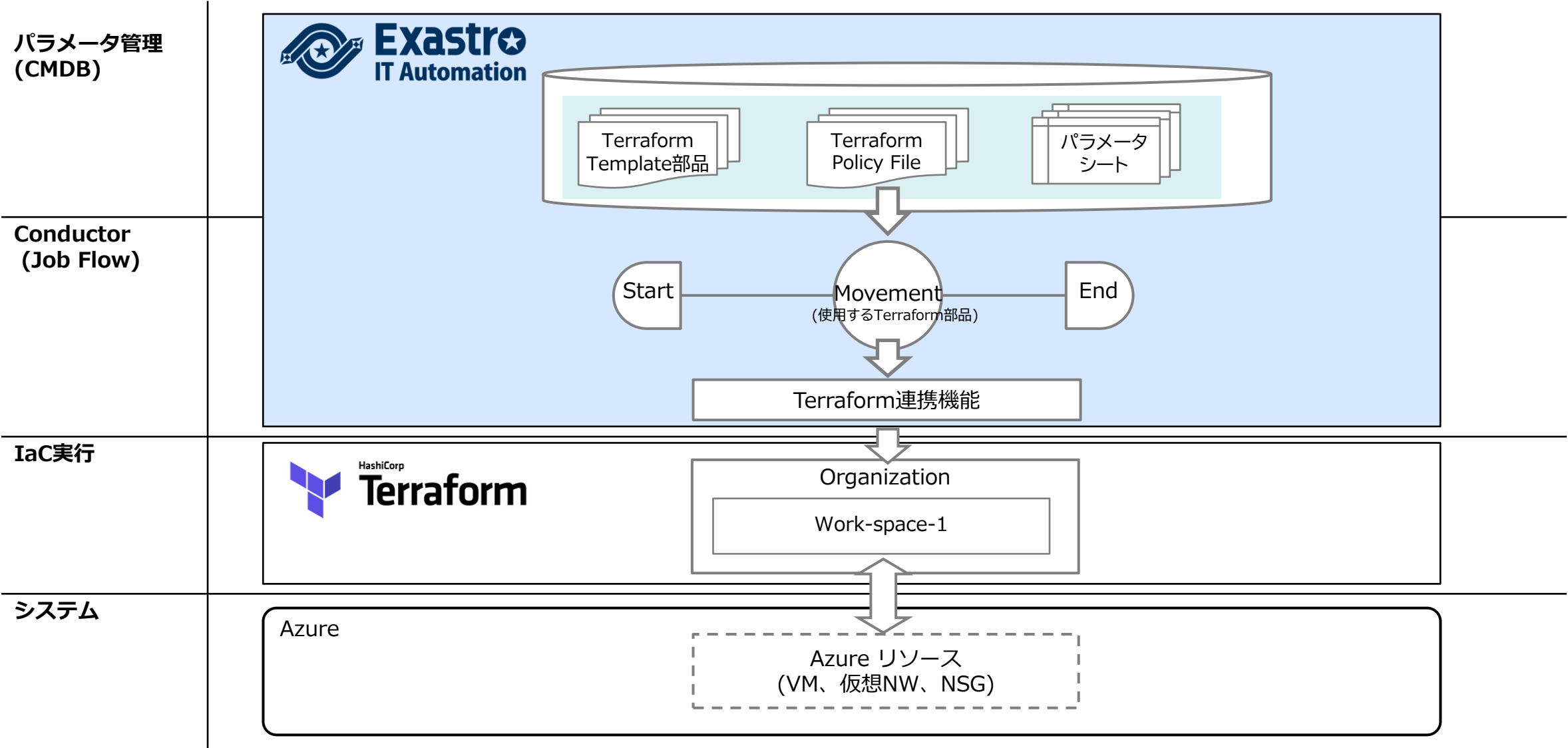
このGUI操作は慣れない人にとって煩雑であり、またネットワークやセキュリティの知識とが必要です。

■ Azureを利用する組織ごとの設定を本モデルに閉じ込めることで、誤ったネットワークやセキュリティ設定の防止やVM払い出し/設定に関する労力を削減することが可能です。



4. 自動化の仕組み

Azureモデルは、Exastro ITAからTerraformを利用することでAzure上にリソースを構築します。



5. RBACによる誤操作防止

AzureモデルではITAのRBAC(ロールベースアクセス制御)機能を使って必要のないパラメータシートにアクセス出来ないようにすることが出来ます。

パラメータ設定ミスによる誤操作で、Azure全体に影響が出ること防ぐことが出来ます。

またAzureモデルでは実行するためのユーザとロールをプリセットしています。
必要に応じてこれらのユーザやロールを追加・編集してください。

ログインID	ユーザ名	ロール名	ログインパスワード	想定する業務
administrator	システム管理者	システム管理者	“ITA初回ログイン時に変更したもの”	<ul style="list-style-type: none">ITA全体管理
azure-admin	Azureモデル管理者	Azureモデル管理者ロール	password	<ul style="list-style-type: none">Azureモデルの全般に関する設定の変更Azureモデルのマスタ情報の管理
azure-user	Azureモデルユーザ	Azureモデル利用者ロール	password	<ul style="list-style-type: none">パラメータの投入作業の実行
	—— 一般ユーザはシステム管理者が必要に応じて追加してください ——			

6. 自動化対象作業

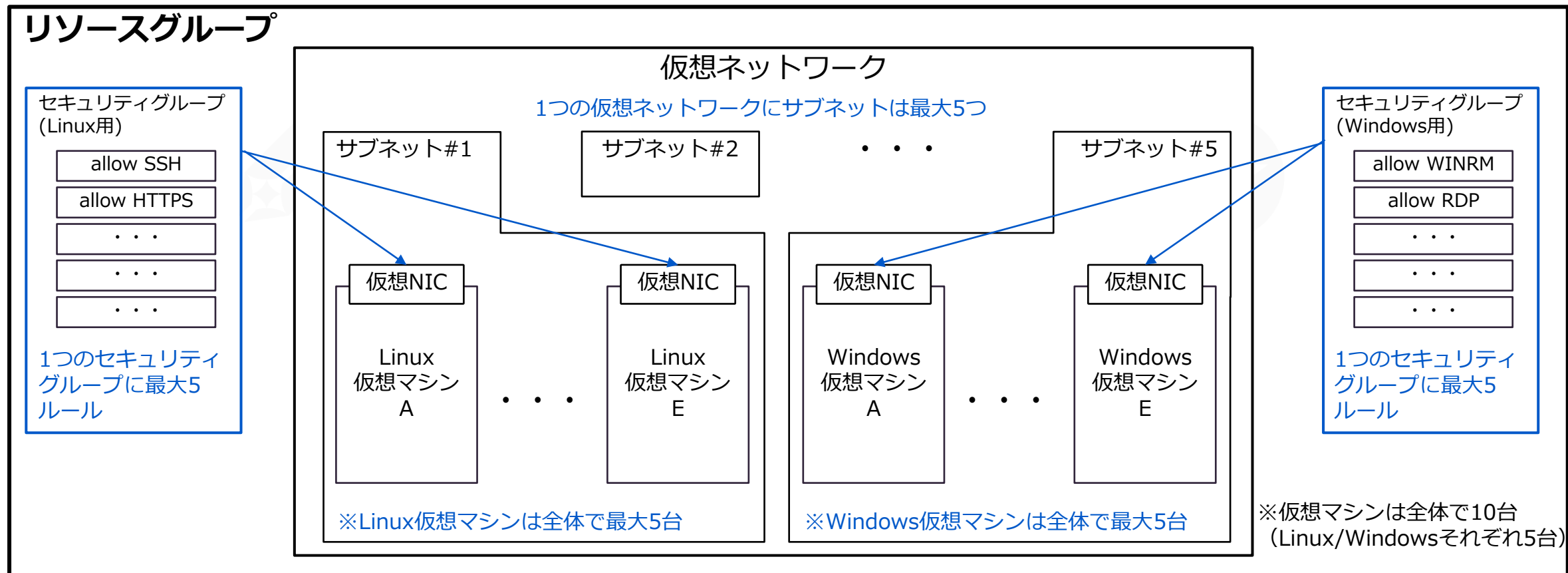
■ Azureモデルは、基本操作として次の作業を自動化します。

- リソースグループの作成
- 仮想ネットワークの作成
- サブネットの作成
- ネットワークセキュリティグループの作成
- 仮想マシンの作成

■ それぞれの操作はConductor、オペレーション、パラメータシートを組み合わせで実行します

6.1 仮想マシン作成

- 「仮想マシン作成」Conductorを使用することで、Azure上に仮想マシンの新規作成を行います。作成される仮想マシンは一回のオペレーションでLinux/Windowsそれぞれ最大5台です。
- 仮想マシンは所属するサブネットを選択可能です。
例：サブネットAにLinux仮想マシンAとWindows仮想マシンAなど

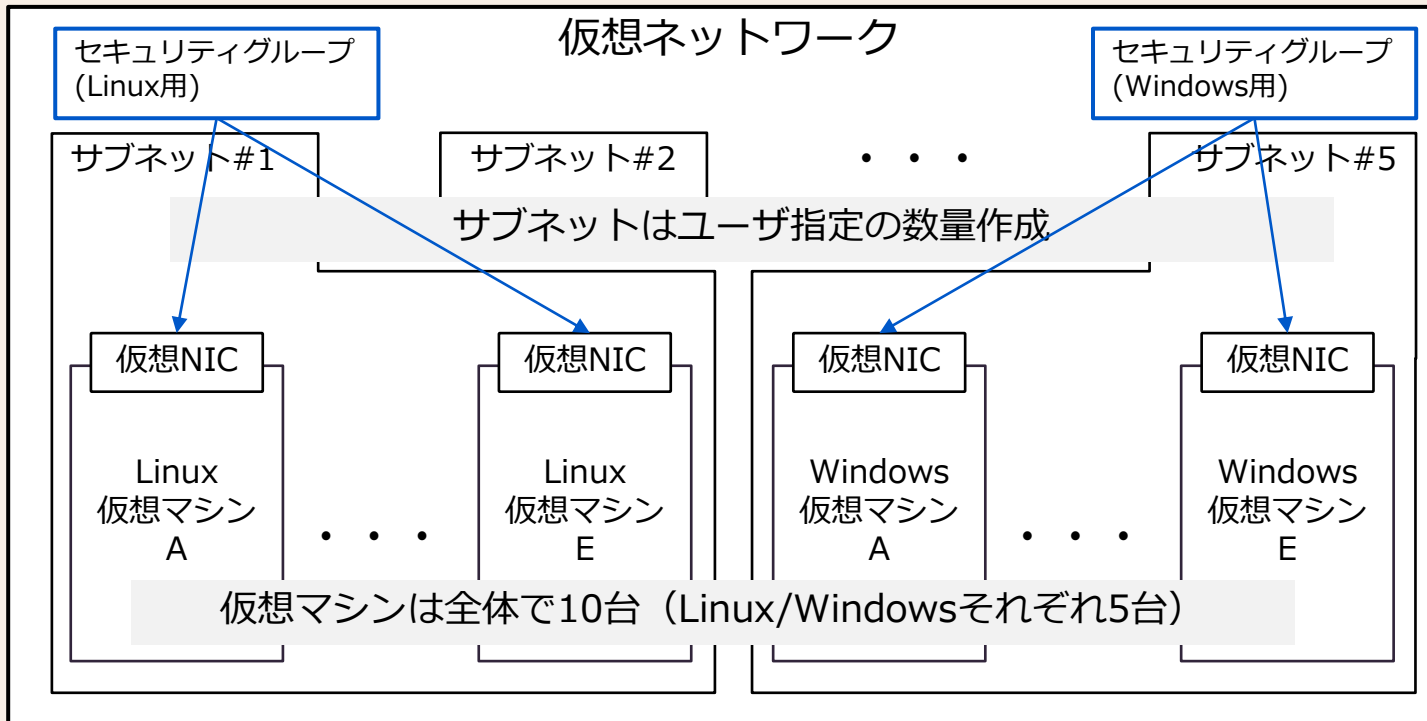


6.2 リソースグループとWorkspaceの関係

- Azure上にリソースグループのセットを作成します。
作成されたリソースグループはTerraform上のWorkspaceと1対1で紐づきます。

Azure基盤

リソースグループ



Terraform

Workspace



7. 困ったときは

■ 「Error: building account: getting authenticated object ID: ~」 とでて失敗する場合

- 「プロバイダー設定」の設定値が誤っている可能性があります。
サブスクリプション、テナントID、クライアントID、クライアントシークレットなどの値を再度確認してください。



Conductor名	概要	Conductor
仮想マシン作成	新規で仮想マシンを作成します。	



パラメータシート一覧

No.	メニューグループ名	メニュー名	アクセス許可ロール※		説明
			管理者	ユーザ	
1	基本コンソール	オペレーション一覧	●	●	オペレーション一覧をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Movement一覧	●		Movementとオーケストレータの関連付けを閲覧できます。
2	マスタ管理_Hyper-Vモデル	インターフェース情報	●		Terraformへの接続インターフェース情報をメンテナンス(閲覧/更新)できます。
		Organizations管理	●		Organizations情報をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Workspaces管理	●		Workspaces情報をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Movement一覧	●		TerraformのMovementをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Module素材集	●		TerraformのModuleをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Policies管理	●		TerraformのPolicyをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Policy Sets管理	●		TerraformのPolicySetをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		PolicySet-Policy紐付管理	●		TerraformのPolicySet-Policyの紐付けをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		PolicySet-Workspace紐付管理	●		TerraformのPolicySet-Workspaceの紐付けをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		Movement-Module紐付	●		MovementにインクルードするModuleをメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		代入値自動登録設定	●		紐付対象メニューに登録されているオペレーションの項目の設定値を紐付けるMovementと変数がメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		代入値管理	●		オペレーションごとに、対象のMovementで利用されるModuleの変数「var.」に代入する具体値をメンテナンス(閲覧/登録/更新/廃止)できます。
		作業実行	●		Movementを単体実行できます。
		作業状態確認	●	●	登録したTerraform作業をモニターするメニューです。
		作業管理	●	●	作業一覧(実行履歴)を閲覧できます。

※管理者: Azureモデル管理者
ユーザ: Azureモデルユーザ

パラメータシート一覧

No.	メニューグループ名	メニュー名	アクセス許可ロール※		説明
			管理者	ユーザ	
3	Conductor	Conductor通知先定義	●		PHPのcURL 関数を使用して、通知処理を行います。
		Conductorクラス一覧	●		Conductorクラスを閲覧できます。
		Conductorクラス編集	●		Conductorクラスを作成できます。
		Conductor作業実行	●	●	Conductorを実行できます。
		Conductor作業確認	●	●	登録したConductor作業をモニターするメニューです。
		Conductor作業一覧	●	●	Conductor作業一覧(実行履歴)を閲覧できます。
		Conductor定期作業実行	●	●	Conductorをスケジュールにしたがって定期的に行うことができます。
4	マスタ管理_Azureモデル	方向	●	●	通信ルール設定で利用するブルダウンを管理するメニュー
		アクセス	●	●	通信ルール設定で利用するブルダウンを管理するメニュー
		プロトコル	●	●	通信ルール設定で利用するブルダウンを管理するメニュー
5	共通メニュー_Azureモデル	プロバイダー設定	●	●	Azureへの接続情報を設定するメニュー
		リソースグループ設定	●	●	作成したいリソースグループを定義するメニュー
		仮想ネットワーク管理	●	●	リソースグループ内で利用する仮想ネットワークを定義するメニュー
		サブネット設定	●	●	作成したいサブネットを定義するメニュー
6	Linuxマシン作成_Azureモデル	通信ルール設定_Linux	●	●	仮想マシンに対する通信ルールを定義するメニュー
		仮想マシン設定_Linux	●	●	作成したい仮想マシン設定を定義するメニュー
7	Windowsマシン作成_Azureモデル	通信ルール設定_Windows	●	●	仮想マシンに対する通信ルールを定義するメニュー
		仮想マシン設定_Windows	●	●	作成したい仮想マシン設定を定義するメニュー

